

新たな災害対策

重要エリアにおける 通信の確保

人口密集地及び行政機関の
通信を確保

- ① 災害時における通信確保のために大ゾーン方式基地局を
全国に設置(104ヶ所)
⇒ 人口の約35%をカバー
- ② 都道府県庁、市区町村役場等の通信を確保するため、
基地局の無停電化、バッテリーの24時間化を推進
(約1,900局)
⇒ 人口の約65%をカバー、災害拠点病院の約50%

被災エリアへの 迅速な対応

- ③ 衛星携帯電話の即時提供による避難所等の通信確保
(3,000台)
- ④ 衛星システムを活用したエリアの早期構築
・衛星エントランス基地局の増設
(車載型:19台に倍増、可搬型:新規24台)
- ⑤ マイクロエントランス回線を活用した機動的なエリア構築
・非常用マイクロ設備の配備(100区間)

災害時における お客様の更なる 利便性向上

- ⑥ 災害時に強いパケット通信を活用した
「災害用音声お届けサービス」の開発
- ⑦ 復旧エリアマップの拡充
- ⑧ 操作性向上の為、災害用伝言板の音声ガイダンス対応
- ⑨ エリアメールの更なる活用(津波警報への拡大等)
- ⑩ SNS等との連携によるICT活用の更なる推進

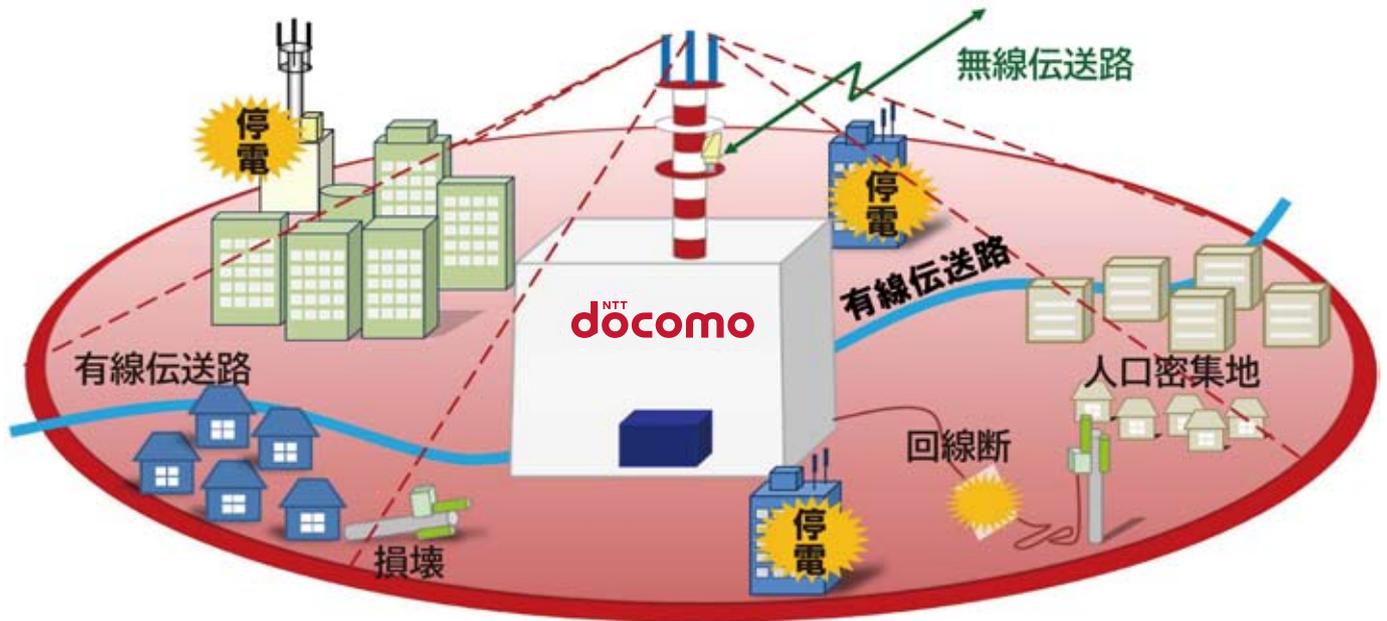
新たな災害対策の進捗状況

・新たな災害対策は、2012年2月末で全施策が概ね完了

取り組み施策	4月	6月末	9月末	12月末	2012年 3月末
完了 ① 大ゾーン基地局の設置	2012年2月末で全104局の設置完了予定				
完了 ②-1 基地局の無停電化	2011年6月末で約700局が完了 (2012年2月末:約720局)				
概ね完了 ②-2 基地局のバッテリー24時間化	2012年2月末で約1,000局概ね完了				
概ね完了 ③ 衛星携帯電話の即時提供	2012年2月末で約1,000台確保(全3,000台の早期配備完了に向けて取り組む)				
完了 ④ 衛星システムの充実	2011年9月末で可搬型全24台、2012年1月末で車載型全9台の配備完了				
完了 ⑤ 非常用マイクロエントランス回線設備の充実	2011年9月末で全100区間の配備完了				
完了 ⑥ 災害用音声お届けサービス	2012年3月1日より提供開始予定				
完了 ⑦ 復旧エリアマップの拡充	HP提供の迅速化 → 完了 → 更なる迅速化・視認性向上 → 完了				
完了 ⑧ 災害伝言板サービスの音声ガイダンス対応	夏モデルの一部機種より開始 → 完了				
完了 ⑨ エリアメールの更なる活用	国や地方公共団体が配信する際の 利用料金の無料化(7月1日~) → 完了				
完了 ⑩ SNS等との連携によるICT活用	津波警報への 対応開始 → 完了				

大ゾーン基地局の設置

- ・広域災害・停電時に人口密集地の通信を確保するため、通常の基地局とは別に、大ゾーン基地局を2012年2月末で全国に設置完了(104ヶ所)
- ・都道府県毎に概ね2ヶ所(東京は6ヶ所、大阪は4ヶ所)



半径約7Kmをカバー

※一般の基地局カバー範囲は半径数100m~数km

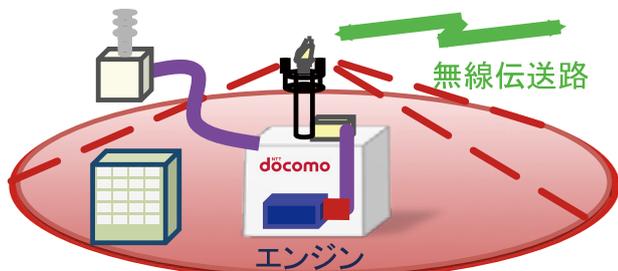
基地局の無停電化・バッテリーによる24時間化

都道府県庁、市区町村役場等の重要エリアの通信を確保する対策は2月末で概ね完了

- ・エンジンによる無停電化は2011年6月末で概ね対策完了(2012年2月末:約720局、完了率:約99%)
- ・バッテリー24時間化は2012年2月末で概ね対策完了(2月末:約1,000局、完了率:約87%)

エンジンによる無停電化

2011年6月末で概ね対策を完了
(2月末:約720局)



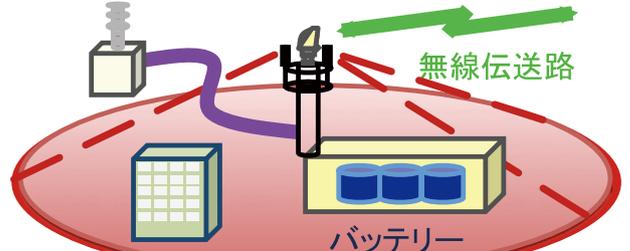
都道府県庁
市区町村役場等



(エンジン)

バッテリー24時間化

2012年2月末で概ね対策を完了
(2月末:約1,000局)



都道府県庁
市区町村役場等



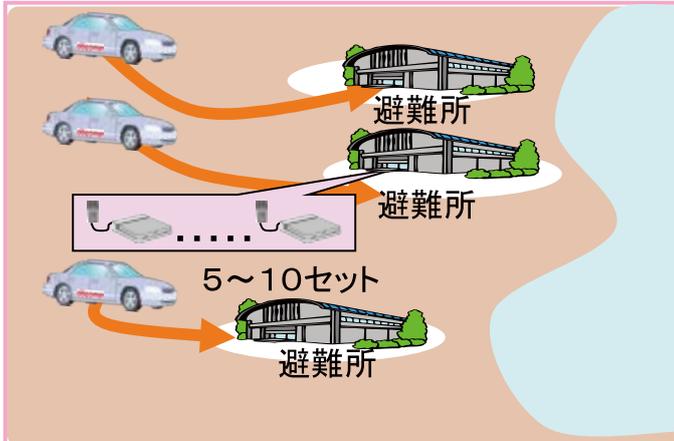
(バッテリー収容箱)



(バッテリー)

衛星携帯電話の即時提供

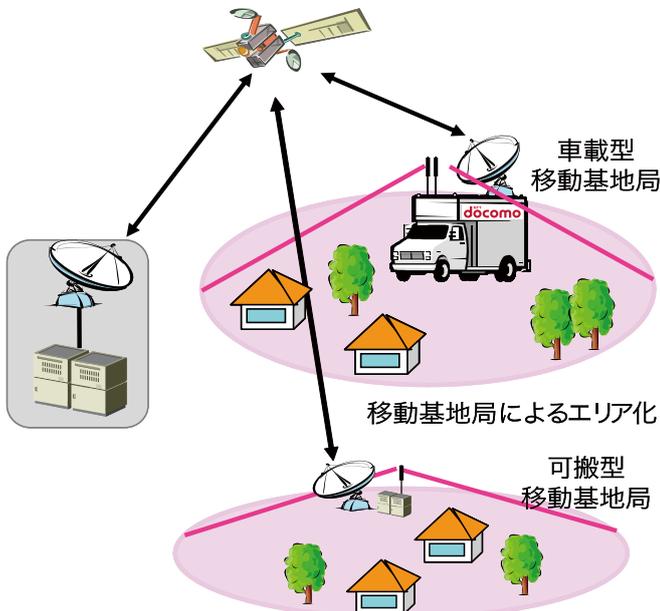
- ・発災後速やかに衛星携帯電話を避難所等に提供し、通信を即時確保
 - －大規模災害に備えるため3,000台を配備(現在約1,000台配備済)



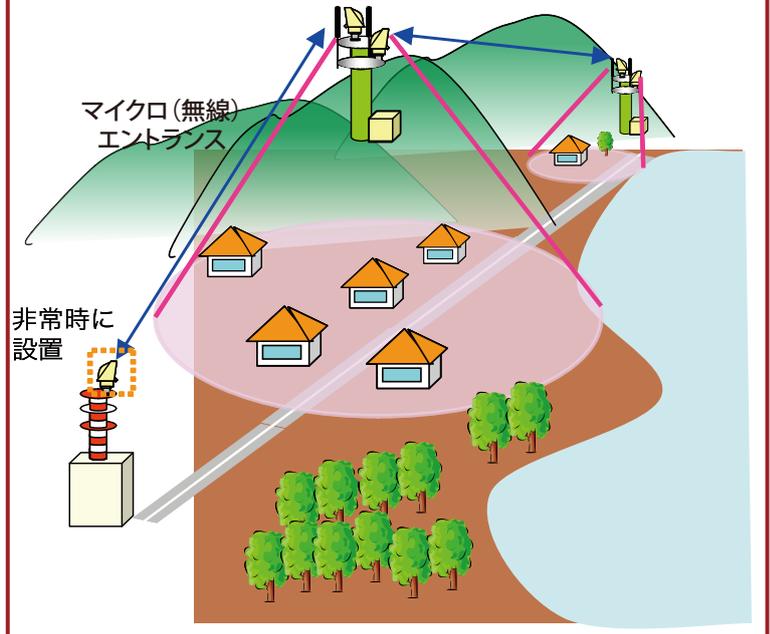
衛星・マイクロエントランスの充実

- ・被災エリアの早期復旧を目的に、機動性に優れた衛星・マイクロ回線を活用
 - －衛星エントランス基地局の増設(車載型:19台に倍増,可搬型:新規24台)
 - －非常用のマイクロエントランス設備を配備(100区間)

衛星エントランス回線の活用・充実



マイクロエントランス回線の活用



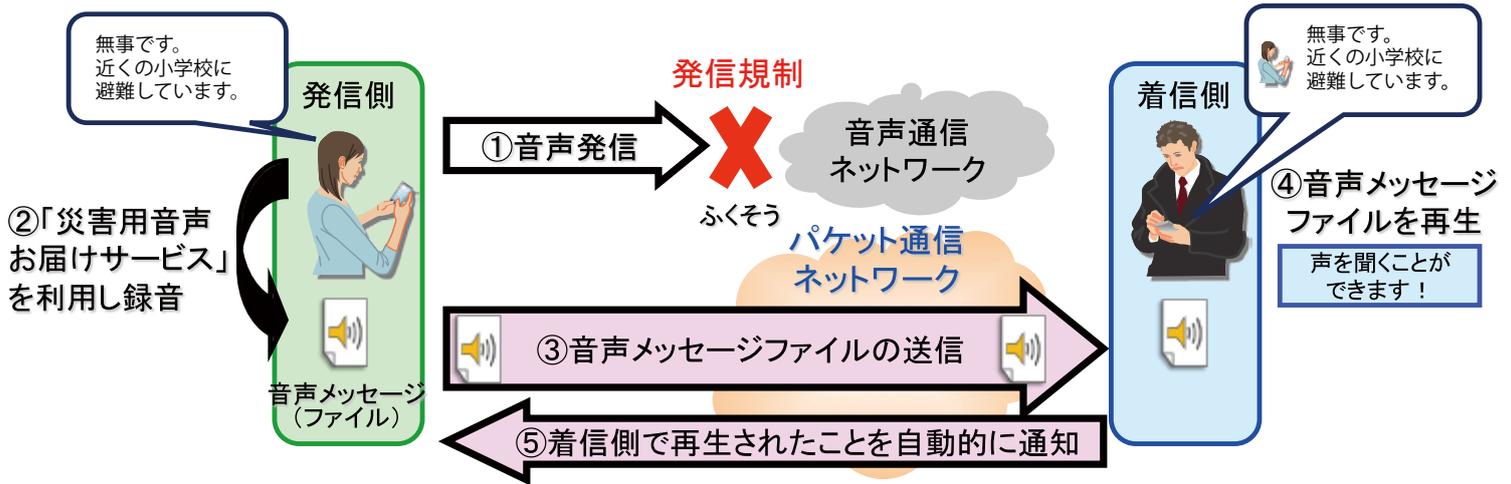
災害用音声お届けサービス

- ・災害により音声がつながりにくい時にデータ化した音声を届けることが可能
「災害用音声お届けサービス」を、2012年3月1日よりサービス提供開始

災害用音声お届けサービス

<サービス提供内容>

- ・無料
- ・災害用伝言板と同時に提供開始
- ・全国で利用可能



復旧エリアマップの機能拡充

- ・2011年12月23日より、復旧エリアマップの機能拡充を実施し、「公開時間の短縮」と「視認性の向上」を実現

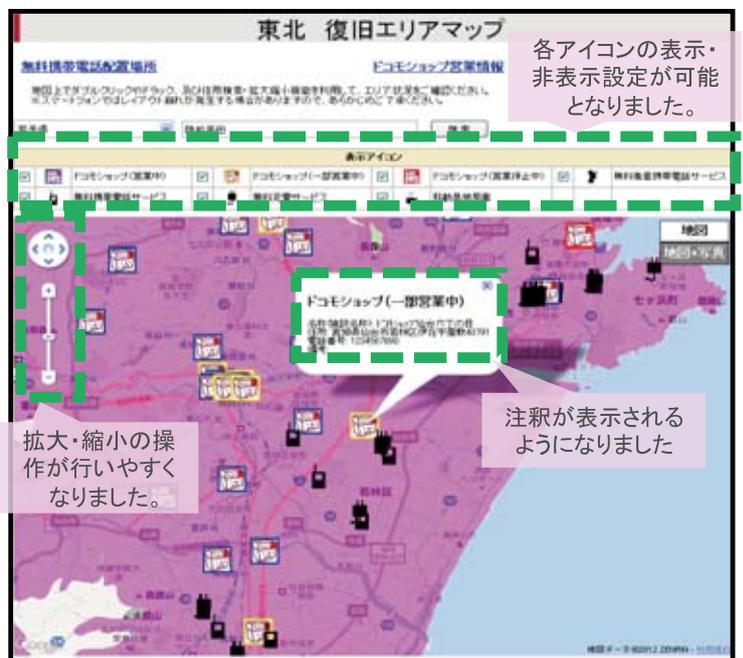
復旧エリアマップ



機能拡充

公開時間の短縮

視認性の向上



Z12LD第515号

災害用伝言板サービスの音声ガイドンス対応

- ・災害用伝言板の「安否登録・確認」が容易にできるよう、操作を改善
 - 音声による操作説明のガイドンス
 - アイコン表示、タッチパネルによる操作
- ・2011年夏モデル：一部機種より対応開始
- ・2012年冬春モデルのスマートフォン全機種でプリインストール対応

1) 災害用伝言板アプリの起動

2) 音声ガイドンスによる操作補助とアイコンタッチによる操作性向上



※「しゃべってカンタン操作」をお使いの場合、音声入力による起動もできます。
「災害用伝言板アプリ」をお使いの場合は、アプリをアップデートすることで、「災害用キット」がご利用になれます。

エリアメールの更なる活用

- ・気象庁が発表する津波警報を、2012年2月24日(金)より、気象庁が指定する沿岸部の66地域に対して、エリアメールを配信するサービスを開始

・提供サービスの概要

配信基準	気象庁が発表する津波警報(大津波・津波 ※1) ・大津波: 予想される津波の高さが高いところで3m程度以上となる場合に発表 ・津波: 予想される津波の高さが高いところで2m程度となる場合に発表
配信エリア	津波警報が発表される際の沿岸部66地域 ※2
配信コンテンツ	津波警報(大津波・津波)
対応機種	エリアメール対応機種(2007年11月以降発売)



※1 気象庁から津波警報のほか、津波注意報や津波情報が発表されますが、エリアメール(津波警報)としては配信しません。

※2 津波予報区 (気象庁ホームページ 津波予報区より引用) http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/index_t-yohokuinfo.html